

# 区政のここが聞きたい

## 一般質問と答弁 要旨

●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの「会議録閲覧・検索」をご覧ください。



### 小中学校の体育館へエアコン設置を！町会に財政支援を

自由民主党目黒区議団 佐藤 昇 議員

区立小中学校の「体育館へ」冷暖房設備を早急に設置せよ。(自然災害時の避難所の機能強化・子ども達の熱中症予防)  
**区長** 区の財政への影響を見据え設置場所の確保など教育委員会とも十分協議し、実現に向けた検討を早急に進めていく。

大規模停電(ブラックアウト)に対しての目黒区施設の停電対応と、区民や事業者に対する意識啓発と区の支援について問う。

**区長** 補助制度等の活用について調査を行い、電源の有効活用を検討してい

く。停電への事前対策が進められるよう引き続き普及啓発に取り組む。

災害時に、水がなくても乳児に安全にあたえられる「液体ミルク」の備蓄が必要である。推進せよ。

**区長** 地域避難所での健康管理の取組は大きな課題である。液体ミルクの備蓄についても多面的な検討をしていく。

「町会・自治会」では、加入者の減少や役員のみ手不足などにより、運営の継続が次第に困難なものとなってきている現実がある。必要な予算措置や体制

整備を図って、早急に支援を実施すべきである。「区は来年度に更に強化せよ。」

**区長** 「コミュニティ施策の今後の進め方」による「コミュニティ施策に係る具体的取組案」に基づき、町会・自治会が直面する課題の解決に向け、計画どおり着実に進めるべく、予算や執行体制も含め検討している。

H32年「待機児童ゼロ」に向けた取り組みについての課題点と状況を問う。  
**区長** 「新たな保育所待機児童対策の取組方針」による保育所の定員拡大を着実に進めていく。

次は、「学童保育クラブ」の待機児童ゼロ！に向けた取り組みが重要課題である。小学校内での対応を急げ。

**区長** 小学校内学童保育クラブの整備と「ランドセルひろば」を拡充する放課後等の居場所づくりを行う。

**<地域包括ケアシステム構築を一層推進せよ>**

(1)地域包括支援センターでは、高齢者・障害者・生活困窮者や地域住民すべてを対象とした総合的な相談支援を充実していく必要がある。庁内に総合的な相談支援のための「中核組織」を設置することについて問う。(2)総合的な相談支援体制の構築のためには、従事する職員の能力向上が重要である。ソーシャルワーク機能を向上できる職員研修を体系的に実施せよ。

**区長** (1)専門部署や専門機関が連携して支援ができるよう体制強化を図り、福祉の各分野を超えた総合的な相談支援、制度の狭間にいる方への支援、地域包括センターの後方支援等の役割を担う中核組織を設置していく。(2)分野横断的に研修等を実施し、専門的な知識や技術の習得だけでなく、人権の尊重を基本に、高い倫理観をもって職務を遂行できる人材を育成していく。



### 小中学校体育館へのエアコン整備とオリパラを前にして

公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

**<地域避難所となる小中学校体育館への空調整備>**  
今夏の災害を受け都議会公明党と連携し、都の財政支援が引出せる方向となった空調整備について、本区の姿勢を問う。  
**区長** 国や都の補助制度の動きを引き続き調査し、経費負担の見込みを含め、具体的な検討を早急に進めていく。

**<東京オリパラ競技大会を前にして>**  
(1)商店街空き店舗活用の被災地支援について、被災地の特産品を扱うショップを、都の空き店舗活用事業を活かした展開ができないか所見を問う。(2)海外関係者、障がい者団体と協議したバリアフリーの街づくりについては、区内の大使館や障がい者団体の方々と利用者

目録での点検が必要で、特に整備中の中央体育館は駅からの動線に、商店街を通過する誘導が必要と考えるが所見を問う。(3)目黒天空庭園と大橋図書館をつなぐ部分にカフェの販売所を設け、来訪者をもてなせるようにはどうか。  
**区長** (1)補助金を活用したアンテナショップの設置は、検討すべき様々な課題があることから、今後の研究課題とする。(2)障害の有無に関わらず、すべての人にとって利用しやすいものとなるよう、東京2020大会に向けて、区内の道路のバリアフリー化を国・都と連携しながら進めていく。また、中央体育館への案内板についても、設置の可能性について今後検討する。(3)現時点で常設の



### 増税中止！高齢者住宅・国保料・施設使用料の負担軽減

日本共産党目黒区議団 森 美彦 議員

増税中止こそ最良の消費不況対策だ。貧困と格差を拡大し暮らして営業を壊す消費税10%に区長は反対せよ。  
**区長** 国の動向を踏まえながら、区民生活や区政への影響について、区として適切な対応に努めていく。

高齢者の住宅確保の困難さは年々深刻化している。(1)住宅福祉関係者が連携し、居住支援協議会を早急に設置せよ。(2)民間アパート一括借り上げ方式も含め高齢者福祉住宅を増設せよ。(3)今のアパートに住み続けられるよう高

齢者家賃助成の6年限度をなくせ。  
**区長** (1)既存の居住支援事業の充実を図ることによりセーフティネット施策を進める。(2)高齢者福祉住宅への転用を図るとともに、都市型軽費老人ホーム等の整備に取り組んでいく。(3)限られた財源と幅広い支援のバランスを考慮して助成期限を設けている。

高い国保料の均等割5万1000円が増える。区として第3子以降の均等割をゼロにせよ。

**区長** 国民健康保険は社会保障の基礎となるものとして、国が責任を持って制度設計していくものと考えており、引き続き国に対して要望していく。  
社会教育団体は、社教施設利用料を一般の3分の1に抑えたため、利用率も登録数も維持してきた。一方、住区センターの利用率は大きく落ち込み、地域活動団体登録件数は半減した。大幅値上げと登録からの締め出しは、区民の自主的活動を妨げてきた。コミュニティ活動の活性化を求めると、施設使用料を引き下げよ。

**区長** 団体登録制度を設け、使用料の負担軽減措置を通じて、コミュニティ活動の支援に努めている。公の施設の使用料は、それぞれの施設の設置目的や公益性、利用される方々と利用されない方々との負担の公平性など、様々な視点での検討が必要である。今後も

「公の施設使用料の見直し方針」に沿って適時適切な見直しに努めていく。  
戦後73年、戦争を風化させない語り部・戦争遺跡の保存と平和マップを作成し、小中学生や区民参加で学校や社会教育における活用を図れ。  
**区長** 開発工事等で発見される遺物は、基本的に現地保存は難しい。いわゆる平和マップの作成は、現状では極めて難しいものと考えている。

災害とされる猛暑から小中学生と区民を守る教育条件整備と避難所機能確保は緊急課題である。国や都の補正予算活用も含め、早急に学校体育館へのエアコン導入計画をつくれ。  
**教育長** 重要かつ緊急性の高い課題であると認識している。体育館冷房設備に関する国・都の動き等を踏まえ、教育委員会と区長部局とで協議・調整を図りながら、今後の対応を検討していく。



### チャレンジ精神を忘れず、未来志向による区政推進を！

立憲民主・区民クラブ 青木 早苗 議員

#### <基本構想の改定>

(1)基本構想の改定においては、多くの区民に参加していただき、作りあげていくべきであるが、今後どのように改定を進めていくのか。(2)基本構想は区の将来を展望する計画だが、高齢者人口が頂点を迎えようとする中、区政どのように運営していくのか。

**区長** (1)アンケート調査やパブリッ

クコメント手続き等により、今後も適宜、様々な方法で区民意見の聴取を実施していく。(2)地域の活力が失われなような生活環境を整備していく。そのため、健全で強固な行財政基盤の確立を進めるとともに、持続可能な行政サービスを展開していく必要がある。

#### <安全で快適なまちの整備>

(1)祐天寺駅に本年10月に駅ビルがオ



### 行政も経営する時代。戦略的ICT化で生産性の向上を

日本維新の会目黒区議団 山本 ひろこ 議員

#### <ICT専門家の導入と人材育成で、生産性向上し、サービスカットを防げ>

区財政が福祉費で圧迫されつつあるなか、行政サービス維持のためには生産性の向上が喫緊の行政経営課題であるが、既

存の体制では限界があるのではないかと

**区長** ICT人材の育成と専門家の導入の必要性は認識している。既に実施している自治体の取り扱いを参考に、効果的な人材育成や専門家の活用に向



### 目黒100周年に向けた事業と危機管理体制の構築を

鴨志田 リエ 議員

#### <目黒区制100周年に向けて>

昭和7年に目黒区誕生と共に区会議員34名が選ばれた。その歴史書「目黒区50年史」は重厚な記念碑である。14年後の100周年に未来に向けた事業とし

て区史の編さんに取り組み。

**区長** 現時点で直ちに区史編さんに取り組むことは考えていないが、適切な時期に、議会とも情報を共有しながら判断をする必要があると考えている。



### 災害時の二次被害を防げ！公園づくりは子ども参加で

広吉 敦子 議員

(1)家具転倒防止器具取り付け時の穴は、賃貸住宅や区営住宅には原状回復義務がない。地震被害を最小限とするために器具の取り付けを普及せよ。(2)発災後、二次被害を防ぐために「水

を流さない」「ブレーカーを落とせ」の鉄則を周知せよ。

**区長** (1)家具転倒防止器具を付ける際の穴については、通常に使用する上で生ずる損耗と判断しているが、取り



### 子どもたちを守れ！

自由民主党目黒区議団 そうだ 次郎 議員

#### <乳幼児期の健康診断の充実について>

(1)乳幼児期の定期健康診断で疾病などの予防・早期発見・早期治療や発達障害の早期発見又は、予防・児童虐待の未然防止などの観点で、より一層充実することは必要と考える。また、5歳児検診を年2回に増やすべきであると考えが区の現状とを考えを問う。(2)3歳児健康診断における視力の検査の現状と弱視は4歳までに治

療を開始すると就学前に治る、又は改善できる疾患である。見落としがないようしっかりと対応の整備について問う。  
**区長** (1)区では、乳幼児期に6回の小児科健診と3回の歯科健診を実施している。また、身体面、精神発達面の検診と保護者の育児に関する状況把握を目的とした5歳児健診も実施している。いずれの健診においても、必要に応じ

ープンしたが、駅前広場のあり方や商店街の活性化等も含めて、今後どのようにに祐天寺駅周辺の整備を進めていくのか。(2)駒場東大前駅に近い国家公務員駒場住宅跡地について、今後どのようにに地元要望を反映し、跡地の活用を進めていくのか。

**区長** (1)災害に強く安全・安心で賑わいと活力のある街としていくため、懇談会の意見等を踏まえながら整備構想・整備方針を策定し、平成32年度には整備計画を策定する予定である。(2)区の本来的方向に沿って、今年度末をめどに活用素案を策定するとともに、早い段階から議会・地域の方々の意見把握に努め、慎重かつ丁寧に進めていきたい。  
**<世界ともだちプロジェクト>**

世界ともだちプロジェクトは、オリンピック・パラリンピック競技大会の参加予定国・地域を幅広く学び国際交流に発展させる都教育委員会の取組みである。区立学校において、特に区内に大使館のある国や、三区間交流事業の相手国とのプロジェクトはどのように進んでいるのか。

**教育長** 直接交流を行っている区内にある大使館は4つにとどまり、大使館と連携した学習活動の充実を支援していく必要がある。北京市東城区、ソウル特別市中浪区とは、スポーツ交流事業等をきっかけとして交流が広がっている。子どもたち一人ひとりにその後の人生の糧とならう、かけがえのないレガシーを残していきたい。

けて、育成手法や任用方法、導入成果等の検討を進めていく。

**<学校ICT化はタブレット配布など単なる機器導入が目的ではなく、教員が機器を習得し十分に活用できなければ生徒にもメリットはない>**  
スマートスクール構想のように、校務事務効率化を伴うICT化をすべき。  
**教育長** スマートスクール・プラットフォーム実証事業を踏まえた「指針」が示される予定であり、その内容を踏まえ、改めて学校のICT環境の整備について、区長部局と綿密な連携を図り

ながら鋭意検討を進めていく。

**<認可外保育施設の情報を、区のホームページで紹介せよ>**  
待機児童の多い区として、保護者が認可外保育施設を探す負担軽減のため、施設種別の違いを明記し、施設一覧を提供すべき。  
**区長** 保育施設の種類の違いの明示等の適切な情報提供について、より効率的で分かりやすい情報提供のあり方を検討していく。また、窓口やホームページにおいても充実した分かりやすい情報を提供できるよう検討する。

90周年事業としての写真集については、検討組織の立ち上げも含め、改めて検討をしていく。

**<感染拡大を想定した危機管理を>**  
細菌性赤痢の感染は1カ月弱続き情報が錯綜する等、区の危機管理に不安を覚えた事例であった。情報共有・提供を一元化する危機管理体制を構築せよ。

**区長** 今後、同様の事案が発生した際の対応に向けて、改善すべき点がないか、区民の皆様や議員の皆様からいただいたご質問やご意見も含め、危機管理体制のあり方も含め、改めて多様な

視点から検証していく。

**<男性職員の育休取得率を高めよ>**  
都内49自治体中、目黒区の女性議員比率はトップ、女性管理職比率は中位だが男性職員の育休取得率が低いため「男女共同参画総合ランキング」で5位に甘んじた。育休比率を高める取り組みをせよ。

**区長** 今後とも、女性活躍の推進、ひいては、男女共同参画社会の形成といった大きな視点から、男性職員の育児休業の取得促進に向けてしっかりと取り組んでいく。

付けについては個々に相談に応じていく。(2)防災対策の必要性や具体的な方法など、区民の方に分かりやすく、マンション管理組合が防災マニュアルを作成する上で参考となるよう、年度内をめどに見直しを進めていく。

(1)子どもの区政参加意識を高めるために学校との連携を深めた公園づくりをせよ。公園の看板等は地域全体の人々が理解し、気持ちよく利用できるために子どもも参画で作れ。(2)コミュニティづくりを広げていくためにマンションや企業の屋上での菜園づくりを推奨し、屋

上緑化を進めよ。みどりのまちなみ助成(屋上緑化)の活用を促し、屋上緑化に携わる人口を増やせ。そして人の交流を促し、人の輪が広がる目黒をめざせ。

**区長** (1)今後とも学校等と連携して、子どもたちが積極的に公園づくりに関わる仕組みについて調査研究を進めていく。(2)みどりの条例による緑化協議や助成の見直しにより、屋上緑化をより一層推進していくとともに、屋上緑化の普及啓発に力を入れていく。屋上菜園等に支援を行い、みどりを通じたコミュニティづくりにつなげていく。

て関係機関と連携を密にするなど、適切に対応していく。(2)都が推奨する方法である「絵指標」を用いて、保護者が自宅で検査する方法で行っている。自宅で検査ができなかった場合などは、3歳児健診の会場で検査を行い、適切な健診の実施に努めている。

**<危機管理としての感染症対策とその対応について>**  
発生時に迅速かつ円滑に対策を実施できる行動マニュアル及び防疫・医療体制などの整備の現状と進捗を問う。  
**区長** 通常の防疫業務は、「東京都感染症対策の手引き」等のマニュアルを用いている。新型インフルエンザ発生時には、「目黒区新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づいて行動している。

**<防災力の強化について>**  
より安心・安全の確保のために、気象予報士と自治体との連携が必要であるが区の現状を問う。

**区長** これまでの経緯も踏まえ、防災力の強化全体への支援など、気象予報士ならではの役割や有効な活用方法について、改めて調査研究に努めている。

**<ナビライン・ナビマークについて>**  
「目黒区自転車走行環境整備計画」に沿って、より一層のソフト・ハード面の充実と今後について問う。

**区長** ナビマークについては、整備計画に沿って国・都・警視庁と協議、連携し、自転車交通ルールの周知等のソフト面、安全に走行できる環境を整備するハード面の両輪を充実させていく。

### 請願・陳情の受付についてお知らせします

請願・陳情は区政に関する事柄等について、皆さんが直接、区議会に要望できる制度です。請願は憲法で保障された権利であり、地方自治法に基づき議員の紹介が必要です。議員の紹介がない要望等は陳情となりますが、目黒区議会では原則として請願と同様に扱っています。受付は常時行っていますが、定例会の会期中の委員会で審査するために、事務の手続き上、会期の約1週間前(区役所が休みの日を除く)までに提出していただいています。この締切日は、めぐろ区議会だより・めぐろ区報・目黒区議会ホームページでお知らせしています。請願・陳情は直接提出していただくこととしています。郵送によるものは原則として審査を行いません。平成31年第1回定例会で新たに請願・陳情の審査を希望される場合は、**2月12日(火)正午まで**に提出してください。なお、受理した請願・陳情の要望する事項とその理由は、個人情報等に該当する部分を除いて、目黒区議会ホームページに掲載しますのでご了承ください。

**<問い合わせ>区議会事務局議事・調査係 ☎03-5722-9414**